

原稿執筆と投稿のお誘い

研究紀要「人と自然」編集委員会

2015年2月25日

研究紀要「人と自然」編集部から、原稿執筆と投稿のお誘いです。

例年5月から7月にかけて原稿募集のポスターを掲示しておりましたが、それだと3か月しか受け付けないのではと誤解をしてしまいます。原稿は1年中いつでも受け付けています。その確認の意味も込めてのお誘いです。

ひとはく研究紀要「人と自然」は市民に開かれた学術雑誌です。博物館や大学の研究者・大学院生ばかりでなく、さまざまな立場で教育に携わっている方、NPO・各種市民団体などで活躍されている方、行政に関わっている方など、広く博物館の関係者、利用者、いろいろな活動でお世話になっている方がたの投稿で成り立っています。

研究紀要「人と自然」には査読制度があります。投稿された全ての原稿は、まず内外の専門家による査読を受け、これをパスして初めて、正式に出版に向けたプロセスへと進みます。しかしこの査読は原稿を落とすことが目的ではなく、

- (1) 議論を装って不必要に特定の個人や組織を貶(おとし)める内容や、
- (2) 自然科学や社会科学、人文科学の観点から見て適切性を欠く内容、

を含む原稿が印刷されてしまうことを、できる限り防ぐことが目的です。この査読により基本的に掲載可能と判断された原稿であっても、筆者は必ずしも科学論文・報文の原稿を書き慣れているとは限らず、原稿に不適切な記述や表現が残る場合もあります。そのような場合は、人と自然の博物館員で構成される担当研究紀要編集委員が、適宜、査読者と協力しつつ論文の完成まで著者をサポートいたします。

「人と自然」は20号(2009)をもって冊子体のみによる出版・配布を終了しました。ただ、「学名の先取権は冊子体でなければ認めない」とする規約が残っている学会があったために21号(2010)から24号(2013)までは冊子体と電子版が併存する形でした。25号(2014)からは電子版のみとなりました。現在は全論文がホームページ <http://www.hitohaku.jp/publication/r-bulletin.html>

から自由にダウンロードできます。

研究紀要「人と自然」はインターネットを使いさえすれば県域や国域にこだわらず、どなたでも自由にアクセスでき、自由に読むことができます。このような科学論文(原著論文・総説・報告・資料・その他)は、

- (3) 県域や国にこだわらず、広くさまざまな立場の市民に公開し、
- (4) 広く検証・批判・評価を受けることで初めて、

次の新たな事業の礎(いしずえ)になると信じています。また世代を超えた論文として利用されることになると思います。

投稿原稿整理カードを添えてご投稿ください。投稿のさい必要な投稿原稿整理カードは「原稿募集のお知らせと投稿規定」にあります。原稿の締め切りは、毎年7月末です。

わからない点は、このメールに返信しても結構ですし、お知り合いの館員に聞いていただいても結構です。どうぞご執筆をご検討ください。